

幸中祭10/13・14を終えて

二日間を終えて

私たち生徒会は、全校のみなさんが全力で楽しんで思い出に残る幸中祭にしたいと思い、何回も話し合いを重ねてきました。幸中祭のスローガンである「翔～spark smile～」のもと、自分たちが大空へはばたいていくためにも、いろいろなことに挑戦しました。このスローガンのサブタイトルの「spark smile」があふれる幸中祭になることを願いながら毎日一生懸命、生徒会役員とともに取り組んできました。

幸中祭当日、全校のみなさんが拍手で会場を盛り上げてくださったおかげで楽しく進めることができました。有志発表では、輝いている人を応援したり、全校で一つになって、楽しんだりする姿がとても印象に残っています。一人一人のきらめく笑顔があふれ、本当に楽しかったと心から思える幸中祭の1日目となりました。みなさんのおかげで最高の幸中祭にすることができました。本当にありがとうございます。

2日目の合唱コンクールでは、クラスの仲間とともに今までたくさんの練習に励んできた思いがどのクラスも分かり、より団結が深まったように感じました。3年生の学年合唱や全校合唱では、多くの人が思いを一つにし、歌う姿が本当に格好良くて、全校で一体となった瞬間でした。

幸中祭の二日間を通して、よい会にするための準備の大切さや、思いが一つになることで生まれる楽しさが実感できました。今後も、「全校でつくる」ということを意識して、みなさんの想いに沿って活動をしていけるようにしたいです。

生徒会長 2年



全校エコキャップアート



吹奏楽部の演奏



教師も寸劇に参加

生徒会役員として

1日目に特に思い出に残ったことは三つあります。一つ目は全校製作です。エコキャップアートを作ることが決まって、どう貼っていくのか、デザインをどうするのか、いろいろと相談しました。実際に組み合わせたとき、本当に頑張ってきてよかったと思う作品ができました。そして、みんなに見てもらったとき、みんなの驚く顔が見られて、ますますうれしくなりました。二つ目は有志発表です。私は見ている方でしたが、みんなを笑わせてくれる先輩方や1年生の仲間を見て、とてもおもしろかったし、かっこよかったです。いつも静かな先輩が切れのある動きで踊っているのを見たときには、普段とのギャップに驚きました。三つ目は自分の担当した出番です。インタビューに行ったり、役員6人で盛り上げたり、レクの進行をしたり、とてもいい思い出になりました。

終わったとき、杉浦先生から「これは6人にしか体験できないことだから、いい思い出になったよね」と言われ、本当にやってよかったと思いました。

1年

おめでとう！ 最優秀賞



1年 最優秀賞
1年3組「マイバラード」



2年 最優秀賞
2年1組「旅立ちの時」



3年 最優秀賞
3年5組「虹」

合唱コンクールを終えて

1年

今日は、今までみんなで頑張ってきた合唱を発表する大事な日でした。朝や放課の時間を使って、自分たちで先生方からアドバイスされたことを意識しながら、歌詞の意味を考えたり、声の強弱に気をつけたりして練習してきました。たぶん、どのクラスよりもいちばん練習したと思います。クラスで前向きに取り組めない時期もありましたが、最後には一人一人が自分から歌うことができたと思います。

しかし、最優秀賞は取れませんでした。どのクラスも上手ですごかったけれど、私は4組がとてよかったと思いました。自分たちの全力を出し切れたと思います。みんなの絆も今まで以上に深まったし、最後まで練習してきてよかったです。これからの行事でも、4組のみんなで団結してあきらめずに頑張っていきたいです。

合唱コンクールを振り返って

2年

ソプラノは最初の方はアルトやテノールに声量が負けていて、私もそんなに大きな声で歌えていなかったと思います。そのときから「もっと頑張らない」と声を出したり、口を大きく動かしたりするように意識しました。先生が毎回撮ってくれた動画でも、まとまりがあると毎日感じられるようになってきて、それが実感できて嬉しかったです。決起集会のとき、先生が作ってくれた動画を見てとても感動し、もっと本番頑張ろうと思えました。みんなが書いたプリントを見て、みんな同じ方向を向いて頑張っているんだなと思って、絶対合唱コンで最優秀賞取る、という気持ちが強くなりました。

当日、自分たちの出番になるまでずっと緊張していました。しかし、結実さんの指揮と、結愛羽さんのピアノ伴奏が聞こえた瞬間、いつもの練習が頭に浮かび上がって、一気に緊張がなくなりました。今まで言われてきたことを全て歌に表現することができたと思います。今まで私たちを引っ張ってくれたリーダーたちには、とても感謝しています。これからも2-1の全員で頑張っていきたいです。

心に残る合唱コンクール

3年

合唱コンクールに向けての約3週間、3年5組は、朝の時間、休み時間、帰りの会後の時間を練習に使って、より良い合唱を創り上げようと頑張ってきました。私は、今年ソプラノのパートリーダーに挑戦しました。ソプラノパートは、声の質は綺麗だけど、声量や表情が乏しいことが課題でした。私は楽しく、みんながやる気になるような言い方で、でも伝えたいことがしっかり届くように意識して練習に取り組みました。パートリーダーの経験は今回が初めてでしたが、昨年までのリーダーでない側の経験も生かして、明るく練習ができるように心掛けました。指揮者の桃寧さんとも、合唱について多くのことを話して頑張ろうと思えました。

本番は、口を大きく開け、笑顔で楽しもうと思って、思いっきり歌いました。歌い終わった後、同じパートの美羽さんが「いちばん楽しく歌えた」と言ってくれてうれしかったです。結果発表の瞬間、最優秀賞に選ばれ、仲間が涙を流す姿を見て、私たちは本当に頑張ったんだなと実感しました。心に残る合唱コンクールになりました。

私たちが創り上げた「友」

3年

中学校生活最後の合唱が行われました。私のクラスは伴奏者が居ないという新しい形での合唱だったので、パートリーダーの私自身も最初の方は「いや、やばいでしょ」「最優秀賞はない」などと弱音を吐いて合唱への気持ちが小さくなっていました。

しかし、本番の4日前に改めて合唱への気持ちを聞き、もっと頑張りたい、このクラスで最優秀賞を取りたいと思いました。本番のリハーサルでみんなで円陣を組んだときに、「あ、これ楽しまなきゃ」「一人一人が全力で一つのを創ることができるクラスだ」と思い、すごく気合が入りました。

歌い終わって舞台から降りたときに最優秀賞を取ることができたのではないかと思います。しかし、最優秀賞を取ることはできませんでした。お母さんが録画してくれていたビデオを見て、今まででいちばん上手だなと思いました。それでもやっぱり最優秀賞をとりたかったです。悔しかったです。ビデオを見て悔し涙が流れました。

みんなの合唱への気持ちが一つになったから創ることができた合唱でした。みんなで素晴らしい合唱を創れて楽しかったです。3年3組で作った最高の思い出です。